

平成 26 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 26 年 4 月 1 日

至：平成 27 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	13,743	13,933	189	(注1)
施設整備費補助金	5,955	5,081	△ 873	(注2)
補助金等収入	511	633	122	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	67	67	-	
自己収入	22,927	22,181	△ 746	
授業料、入学料及び検定料収入	5,641	5,198	△ 442	(注4)
附属病院収入	17,093	16,634	△ 459	(注5)
財産処分収入	11	21	10	(注6)
雑 収 入	181	327	145	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,118	2,105	△ 12	(注8)
引当金取崩	-	12	12	(注9)
長期借入金収入	974	965	△ 9	(注10)
目的積立金取崩	-	89	89	(注11)
計	46,298	45,069	△ 1,228	
支 出				
業務費	35,232	34,405	△ 826	
教育研究経費	18,886	18,466	△ 420	(注12)
診療経費	16,345	15,939	△ 406	(注13)
施設整備費	6,997	6,113	△ 883	(注14)
補助金等	511	633	122	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,118	2,063	△ 54	(注16)
長期借入金償還金	1,438	1,390	△ 47	(注17)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	10	10	(注18)
計	46,298	44,617	△ 1,680	
収入－支出	-	452	452	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当の前年度からの繰越額が当初見込みより増加したことなどにより、予算額に比して決算額が189百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の計画変更によって今年度の執行金額が減ったため、予算額に比して決算額が873百万円少額となっており、同額が翌年度へ繰越となっております。
- (注3) 補助金等収入については、当初見込額より122百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料及び入学料免除の実施により、予算額に比して決算額が442百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数が当初見込みより減少したこと及び院外処方箋発行率が大幅に向上したことにより、予算額に比して決算額が459百万円少額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、土地の売却により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、予算段階で見込んでいなかった保険金の入金、附属病院における食堂等の施設使用収入の増及び公開講座収入などの増により、予算額に比して決算額が145百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、見込み額を過大に見積もっていたことから、予算額に比して決算額が12百万円少額となっております。
- (注9) 引当金取崩額については、予算段階で予定していなかった引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が12百万円多額となっております。
- (注10) 長期借入金収入については、事業計画の変更により、予算額に比して決算額が9百万円少額となっております。
- (注11) 目的積立金取崩については、目的に沿った使用のための取崩しにより、予算額に比して決算額が89百万円多額となっております。
- (注12) 教育研究経費については、(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が420百万円少額となっております。
- (注13) 診療経費については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が406百万円少額となっております。
- (注14) 施設整備費については、事業の計画変更によって今年度の執行金額が減ったため、予算額に比して決算額が883百万円少額となっております。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が122百万円多額となっております。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由及び翌年度への繰越の発生により、予算額に比して決算額が54百万円少額となっております。
- (注17) 長期借入金償還金については、予算策定後の金利の見直しにより、予算額に比して決算額が47百万円少額となっております。
- (注18) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、予算策定時には確定していなかった土地の売却が行われ、財務・経営センターへの納付が必要となったため、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示しております。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息240百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示されております。